



皆様の声をお聞かせ下さい。ご意見はFAXにて。

ホームページを開設しました。アドレスは <http://www.yasuoka.org/> です。

歯の健康がみなさんの健康を守る！

～歯科保健法(仮称)創設に向けて～

4月19日(土)、鹿児島県歯科医師会館5階大ホールで、鹿児島県歯科医師会主催の「創立100周年記念事業 時局講演会～歯科界の課題と今後の展望～」が開かれました。大久保満男日本歯科医師会会長、渡辺俊介日本経済新聞論説委員の講演があり、わたしも、自民党国民歯科問題議員連盟の会長として歯科保健法(仮称)の創設に向けた最近の動きについて報告をいたしました。

最近の研究により、歯周病が糖尿病に影響していることがわかり、口腔の健康と全身の健康、特に生活習慣病と深い関係にあることが注目を集めています。

こうした状況を踏まえて、わたしは、わたしが顧問を務めさせていただいております自民党社会保障制度調査会・医療委員会の歯科診療に関するプロジェクトチームにおいて、以前から「生涯にわたって歯・口腔の健康管理をすることは、身体全体の大きな健康力になり、それを支える歯科保健法を創設することが国民の健康を守るために必須であり、政治家がグランドデザインを描いていく必要がある」と、「歯科保健法(仮称)」の創設を強く主張してきました。

わたしは、260名を超える国会議員で組織する自民党国民歯科問題議員連盟の会長として、石井みどり事務局長を中心に自民党社会保障制度調査会長代理の木村義雄先生を同議員連盟幹事長兼副会長に迎え、歯科医師会の先生方と相談しながら「歯科健康保健医療法(仮称)」の早期創設に向けて全力でがんばって参ります。

スロベニア共和国首相、EU議長国として初来日！

～友好議連会長として、晚餐会を開催～

4月21日、2004年EU新規加盟諸国のうち初の議長国となったスロベニア共和国のヤネス・ヤンシャ閣下が首相として初めて来日され、わたしは、日本・スロベニア友好議員連盟の会長として、ヤンシャ首相をお迎えする晚餐会を主催し、日本・EU議員連盟、日本・スロベニア友好議員連盟の国会議員の先生方の出席のもと、親しく懇談いたしました。

スロベニア共和国は四国とほぼ同じ面積で、1991年に旧ユーゴスラビアから独立したイタリア、オーストリアに隣接する人口200万人の小さな国です。『陽のあたるアルプス』と言われるほどの美しい自然に囲まれた風光明媚なところで、最近では、日本からの観光客が急増しています。わが国とは、1992年10月12日に外交関係を開設し、2006年1月には待望の在スロベニア日本大使館が開設され開館式が行なわれました。わたしは、その時スロベニア共和国の首都リュブリャナを訪れました。

わたしは、EUと日本の架け橋になるEU議長国となったスロベニア共和国との友好関係を促進するために、政府と一体となって今後も全力で務めて参ります。

●保岡興治著書「政治主導の時代」～中央公論新社～2100円(税込み) 大手本屋にて好評発売中！

●映画「チェスト」好評上映中～桜島錦江湾横断遠泳を通じ少年達が成長していく感動的なドラマです。

保岡代議士もPTA会長役で出演しています！